

横浜開港150周年記念事業コアイベント・ヒルサイドステージ実施業務委託(実施設計策定業務)
業務説明資料

1 件名

横浜開港150周年記念事業コアイベント・ヒルサイドステージ実施業務委託(実施設計策定業務)

2 履行期限

契約締結日から平成20年3月31日まで

3 履行場所

横浜市内

4 業務目的

「横浜開港150周年記念事業コアイベント・ヒルサイドステージ」の実施計画を踏まえ、高度な創造性、技術力、専門的な技術又は経験を生かした実施設計等を行い、イベントに向けた準備を進めます。

5 業務概要

別紙のとおり

6 成果品

「横浜開港150周年記念事業コアイベント・ヒルサイドステージ実施設計」一式

7 事業計画

平成19年度 実施設計

平成20年度 制作・実施準備・施設建設

平成21年度 コアイベント実施

*上記の内容については、一部変更することがあります。

横浜開港150周年記念事業コアイベント・ヒルサイドステージ実施業務委託(実施設計策定業務)

業務概要

<ヒルサイドステージ概要>

テーマ・コンセプト・目標	実施計画のポイント	主催者負担	予測 入場者数 (万人)
<p>1 テーマ 「自然・環境」「地域」「共生」 「市民との協働による制作・運営」</p> <p>2 事業コンセプト 「集え！一粒のチカラ」</p> <p>3 到達目標 「持続可能な環境行動市民を創出し、 魅力あふれる横浜の構築へ寄与する」</p> <p>4 会期 2009年7月4日～9月27日予定</p> <p>5 会場 横浜動物の森公園 (ズーラシア未整備地区・アフリカサバ ンナゾーン予定ゾーン)など</p>	<p>①会場施設として市内産の竹を建築材として使用した「竹の海原」を市民協働により建設</p> <p>②会場内では、4つのコンテンツを展開 (メインコンテンツ、テーマコンテンツ、シンボルコンテンツ、レスポンスコンテンツ)</p> <p>③メインコンテンツとなる市民プロジェクトは、市民創発、市民協働、市民参加の3段階の参加形態＝「市民参加システム」を提供し、多くの人のさまざまな参加を目指す</p> <p>④このイベントの中心(＝市民参加システムの中心)となる市民創発プロジェクトについては、今秋にも市民1次公募を行い、2段階のワークショップを経て、魅力的なコンテンツづくりを目指す。</p> <p>⑤メインコンテンツと同時に、発信力の高い「シンボルコンテンツ」を実施することにより、多数の市民にヒルサイドステージ来場へのきっかけを提供する。</p> <p>その他、「開港150周年記念事業コアイベント実施計画書」のヒルサイドステージ部分を参照 なお、メインコンテンツの他3つのコンテンツについて、実施計画掲載の内容については参考例であり、今後、実施設計の中でその内容を決定していきます。</p>	<p>10億円程度</p> <p>※入場料収入、企業協賛等をあわせた総事業費は25億円程度と想定</p>	50

<平成19年度実施設計業務概要>

<p>(コンテンツ)</p> <p>① 1次市民公募</p> <p>② プロジェクトメイキングワークショップの実施</p> <p>③ 2次市民公募計画の策定</p> <p>④ テーマ、シンボル、レスポンスコンテンツ設計</p> <p>(会場)</p> <p>⑤ 会場全体設計(野外施設及び竹の海原内の各施設の配置)</p> <p>⑥ 会場施設「竹の海原」設計</p> <p>⑦ 市民協働としての建設手法検討</p> <p>(会場運営)</p> <p>⑧ ズーラシアと連携した会場運営計画の策定</p> <p>⑨ 会場への交通アクセス計画(最寄駅からの輸送計画、臨時駐車場計画など)の策定</p> <p>ほか</p>
